

試験報告書兼所見書（2000年12月20日付）

VSh-3/40M圧縮機： 吐出し量の増加 分解・運転停止不要

ドニエプロエネルギー公開株式会社、構成事業所「プリドニプロウスカ火力発電所」・報告書：火力発電所技師
長承認、生産技術部長・電気課長署名・処理実施：アズリート有限責任会社

ウクライナ・測定：2000年11月3日および2000年12月19日・報告書：2000年12月20日付

製品

XADO技術®

組立状態のまま行う対象機の修理・再生処理

処理対象

VSh-3/40M空気圧縮機

電気課、ORU-154、KSTs No.2、VK-3

文書の種類

試験報告書兼所見書
署名および事業所の押印付き

機械類

状態・作業条件

測定項目

VSh-3/40M空気圧縮機

発電所で稼働中の圧縮機。通常運転のままの処理、分解不要・設備の運転停止不要

空気だめの充てん時間、運転電流、潤滑油温度

処理前の測定は2000年11月3日、処理後の測定は2000年12月19日である。測定条件は両回とも同一であり、38から41 kgf/cm²までの空気だめの充てんである。

主な結果

↑ **58.3 %**

吐出し量（空気だめの充てん時間）、19 → 12 min

↓ **15.2 %**

圧力41 kgf/cm²時の潤滑油温度、59 → 50°

VSh-3/40M圧縮機の処理前後の測定

パラメータ	処理前（2000/11/03）	処理後（2000/12/19）	変化
38から41 kgf/cm ² までの空気だめの充てん時間	19 min	12 min	-7 min、吐出し量 +58.3%
圧力41 kgf/cm ² 時の潤滑油温度	59°	50°	-15.2%
運転電流	70 A	74 A	+5.7%

報告書は運転電流の増加を吐出し量の増加によって説明している。圧縮機は同じ41 kgf/cm²まで著しく短時間で昇圧する。温度の目盛は原本の記載のとおりとした。

報告書の結論および勧告

プリドニプロウスカ火力発電所の試験委員会は次のとおり記録した。「XADO技術®の使用により、設備の吐出し量を増加させ、それによって寿命を延長するとともに修理間隔を延長すること、新しい設備の摩耗を防止すること、ならびにエネルギーコストの確実な削減を伴いつつ、XADO技術®による圧縮機の処理を通常運転のまま首尾よく実施することが可能となる」。報告書は「稼働寿命の大幅な延長をもたらす、XADO技術による機械・機構の計画的予防保全作業を、設備の計画保全に組み込むこと」を勧告し、同技術について「プリドニプロウスカ火力発電所での今後の導入を推奨する」としている。発電所の技師長は、ドニエプロエネルゴ公開株式会社の取締役会メンバー宛ての書簡で、圧縮機の吐出し量の増加、運転時間の短縮および騒音の低減を確認し、発電所の残りの圧縮機の処理への協力を要請した。

XADO

© XADO。無断転載を禁じる。

本結果は、通常運転のまま分解せずに処理したプリドニプロウスカ火力発電所のVSh-3/40M空気圧縮機に関するものであり、他の設備や他の運転条件では測定値が異なる場合がある。署名および押印のある試験報告書兼所見書の原本は全文を公開しており、ダウンロード可能である。